

請願文書表

請願第1号

75歳以上の医療費の窓口負担を2割に引き上げないことを求める請願

1 請願者住所氏名 新潟市中央区医学町通1-45
新潟県社会保障推進協議会
会長 高橋 常彦

2 受理年月日 平成31年2月15日

3 紹介議員 小林 誠

4 請願の要旨

経済財政諮問会議（内閣府）や財政制度審議会（財務省）で、後期高齢者医療の自己負担を1割から2割にする負担増が審議されています。社会保障審議会（厚生労働省）においても議論がなされました。

2割化は現在の負担が2倍になることですが、この負担増の計画に対しては、老人クラブや医療関係団体から慎重な意見が相次いでいます。

高齢者の7割が所得100万円（年金収入220万円）未満であり、厳しい生活を強いられています。生活を支える唯一の公的年金は減らされ続け、年金収入が生活保護基準を下回る世帯が3割に迫っています。後期高齢者医療制度の「特例軽減措置」も今年度までに廃止されました。医療費自己負担の2割化は医療機関の利用を大きく阻害し、高齢者のいのちを縮めることにつながります。

現在、開催されている通常国会には自己負担を原則に2割にする法案は提出されませんでした。しかし、秋の臨時国会に法案が提出されることは十分に予想されます。

以上の趣旨から次のことを請願いたします。

【請願項目】

- 1 政府に対し、75歳以上の医療費の窓口負担を2割に引き上げないよう、要望・意見をあげてください。